

インストール

井口昭久

スーパーからの帰り道で、いつもと違う道を通過してみた。池の周囲に趣向を凝らした家が連なっている。広い庭に大きな松が植えである家もあった。

この地域は森林が多いので、突然宅地ができて町が出現することがある。

道路の幅は狭かった。対向車が来ないことを祈って、おそるおそる走り抜けた。今までに出会ったことが無い人々がその地で出会い、新しい社会を作っていた。そのことを隣の地域に住んでいた私は知らなかった。走り抜けると見慣れた銀行があり、馴染みの電気店があった。

という具合にきまる。

使えなくなったプリンターや段ボールは持って帰ってくれる。インストールもしてくれる。それに、我が家に起こった電気トラブルも頼むことにしている。

私は今から親しくなっておいて、寝たきりになった時に何かのついでに家にきてもらい「ちよっと、あの棚の上の本を取ってくれない」などと頼もうという魂胆がある。

だから量販店に比べて少々値段が高くても将来のことを考えれば安いものだ。

インストールするには時間がかかった。待っている間に世間話もできた。彼は、この辺りでの横断的知識を持った唯一の知人である。

「池のほとりの新興住宅街の道は狭いのに一方通行ではないんですよ。近頃の人は、その道で対向車が来てもバックしないんですよ」「大きな松のある家があるね。あそこの家はどのような人が住んでるの?」「お年寄りが一人で住んでいるんですよ。高い所の物を取っ

プリンターが動かなくなった。電源を入れなおしても動かない。故障のようであった。量販店で買えば安く手に入ることは知っている。多数の種類のプリンターが並んでいて店員に説明してもらえば、どれも良い機種のような気がして、どれも悪い機種のような気分になるにちがいない。

結局、近くの電気屋から買うことにした。数年前はオヤジさんが一人でやっていたが、この頃では30歳代のお兄ちゃんが主役になった。彼に頼むと、老人に使い勝手がよさそうな機種のパンフレットを持ってきて、「これがよさそうですね」というので「それにする」



てくれとか、重いものをこっちに運んでくれとか、電気屋とは関係ない用事を頼まれるんですよ」

プリンターのインストールが終わった。パソコンのマウスが「コピー」の機能を果たさないのを直してもらうことにした。原因が分からないので「初期化してみましよう」ということになり、一定の前のところから初期化すると、マウスは直った。

お兄ちゃんの帰ったあとでプリンターを動かしたが動かなかった。やったばかりのプリンターのインストールも初期化して帰っていたのであった。

(愛知淑徳大学教授・名古屋大学名誉教授)